

Shoten 街

ニュース 2010 no.90

2010年12月20日

県振連メールアドレス

isirengo@angel.ocn.ne.jp

商店街賑わい創出に関する掲載原稿、ご意見、ご感想などお待ちしております!

『平成22年度実践活動事業(国庫補助事業)』(公募)スタート

全国商店街振興組合連合会(全振連)の商店街振興基金による「コミュニティ活動」に対する助成は、昨年度で終了し、平成22年度から全振連の新規国庫補助事業「商店街実践活動事業」としてスタートすることになりました。

本事業は、商店街振興組合等が地域への貢献、社会的課題へ対応、地域コミュニティとの連携等による取り組みを支援することにより、商店街の活性と消費の促進を図ることを目的としており、全振連が公募により事業の採択をおこなうものです。

第1次、第2次公募で全国314組合から320件の応募があり、うち192組合(195件)の採択。中部地区では、石川8件、愛知3件、岐阜6件、三重1件、富山5件の計23件の採択がありました。

次年度も引き続き実施(募集)される予定とか。

●石川県

- ①山代温泉通り商店街振興組合
 - ・五感で楽しむ山代温泉への誘い「聴く・ジャズライブ&観るアート」と温泉による健康・交流・安全・安心のまちづくり事業
 - ・山代温泉・現代のROSA N J I Nを創ろう
- ②輪島市本町商店街振興組合
 - ・アニメの殿堂・永井豪記念館一周年記念事業～地域ブランド・輪島朝市に継ぐアニメタウン(永井豪ワールド)・ブランド化を目指す～
- ③石引商店街振興組合
 - ・詩と絵と花のあるエコなまちづくりで親子交流
- ④堅町商店街振興組合
 - ・まちかど子育て応援商店街で買い物と地域の人たちとの交流促進事業
- ⑤片町商店街振興組合
 - ・ときめき出会い発見!お見合いパーティー・イン片町
- ⑥武蔵商店街振興組合
 - ・むさし再発見!伝統文化ふれあいフェア～こだわりの専門店が集積する商店街が、今あるものを生かして魅力発信と地域住民とのふれあい交流～
- ⑦香林坊商店街振興組合
 - ・香林坊まつりスイーツフェア

●愛知県

- ①豊川市門前通商店街振興組合
 - ・「蘇れ!金木犀」～豊川稲荷はすこ～い!～
- ②藤が丘中央商店街振興組合
 - ・快通商店街推進事業「藤が丘安心・安全まちづくり活動」
- ③半田市成岩南部商店街振興組合
 - ・あおやま街づくり協議会 設立と記念イベント開催

●岐阜県

- ①高山市商店街振興組合連合会
 - ・商店街サンセット・ウォーキング
- ②柳ヶ瀬2丁目商店街振興組合
 - ・柳ヶ瀬本通りに賑わいを「柳ぶら楽市」の実施
- ③日ノ出町商店街振興組合
 - ・日ノ出町「幻まつり」あの日、あの時、そして今を遊ぶ、街を遊ぶ
- ④多治見ながせ商店街振興組合
 - ・ながせ商店街 元気まち歩き事業
- ⑤中津川駅前商店街振興組合
 - ・中津川まち歩き4ヶ国語マップ
- ⑥本町商店街振興組合
 - ・歌舞伎行列

●三重県

- ①浦之橋商店街振興組合
 - ・うらはし連休軽トラ市(継続的休日イベント)

●富山県

- ①氷見市比美町商店街振興組合
 - ・まんがロードで世代交流イベント事業
- ②三日市大町商店街振興組合
 - ・くるべ納涼楽市2010～夏の通りはお祭り広場～
- ③となみ駅前商店街振興組合
 - ・クリーンな地球をめざすエコ商店街事業
 - ～小さな地球温暖化対策と人の目、心を癒す商店街～
- ④千石町通り商店街振興組合
 - ・ふれあいあふれる商店街活性化事業「よさこい秋の陣」
- ⑤中央通商店街振興組合
 - ・越中おわらin中央通り

第13回全国まちづくり商店街サミット

平成21年10月22日和歌山県田辺市で

和歌山県田辺市は、古くから熊野三山への参拝の要衝として栄え、今日にいたるまで紀南地域の中心地として、商店街地域は、その中核の役割を担ってきた。昭和45年頃より郊外に大型店の出店がはじまるとその中心市街地の賑わいを減退。

平成20年、田辺商工会議所に田辺市中心市街地活性化協議会が設立され、まちの活性化に向けた取り組みははじまる。翌平成21年3月27日、中心市街地活性化基本計画「都市機能の向上と、自然と歴史を生かした街づくり」の認定、中心市街地の活性化を目指すことになりました。

平成21年10月商店街サミット全国大会「商店街の務め(役割)と題し、開催される。基調対談の後、第2分科会「コミュニティと商店街」、品川、天神橋、佐世保の商店街会長をパネラーに分科会おこなわれる。

「自分を愛し、自分の住んでいる街を愛していこう」

品川商店街連合会(網嶋副会長)

30年前大崎再開発の波が押し寄せてきた。品川のまちがかかわると危機感をもつ。「切り地」を譲り受け、私設公民館を設置。商店街は、まさにコミュニティの中心。みんなが「もうウチのまちはダメ」という気持ちでいては商店街は滅びていく。立ち上がらなければ、街の活性化は無理!立ち上がるべき人が立ち上がらない限り街の活性化は実現しない。私たちは、経済効率というものを追いかけて、商店街として一番大切なものを失ってしまった。

地域のなかで生き生き暮らしていくことから始めよう。そのためには、「自分の職業を愛し、自分の住んでいる街を愛していこう。」そこから始まる。

「天神橋筋物語」

天神橋筋商店街連合会(土居会長)

平成6年に「天神橋筋商店街連合会」(1～3丁目の連合)を結成。平成14年に商店街のサポーター的役割を担った「NPO法人天神天満町街トラスト」を立ち上げ、活性化に努める。

- ・文化のない街は崩壊する。
- ・商店街の活性化は、まちを安全・安心な社会にすること。
- ・街商人が社会に必要なときが来ている。

まち、ひと、商店が好き。愛着の価値、それ自体1つの個性を作っていくと思う。

「コミュニティと商店街」

佐世保市商店街連合会(竹本会長)

ひとは、どういった所に集まるのか。真っ先に思いつくのは、イベント、お祭り。しかし売り上げには結びつかない。

でも、それをおこなうことにより実行委員会に活力が生まれる。それらは、「ひとづくり」です。キーワードは、出会いそして感動、夢を持って楽しみながら継続していくことです。「理性という言葉はない。理屈じゃ人は動かない。感動である。ここを動かすから人はついてくる。」(相田みつをさんの言葉)

当店で成功した秘訣。「事業は、夢で始まり、情熱で発展させ、義務感と使命感で成功させる。」これから先は、夢縁社会。夢が同じ人間が集まってこうやりたいと夢でつながっていく社会です。

「理論・実践・検証 学生と一緒に商店街でのカフェ経営 5年目を迎えて」

足立基浩和歌山大学経済学部准教授・コーディネーター

春、秋の2季、中心市街地活性化を目的としたオープンカフェ事業を実施して5年をむかえる。主に地域の産物を提供し、またレンタルカフェ構想のもと、民間NPO、企業と共同でカフェを運営しており、市民一人一人がまちの個性について考えるコミュニティのまちになっている。

長年掛かって衰退したまちには、同じ年月だけ再生に時間が掛かるかもしれないが、郊外型店舗との差別化さえできれば、間違いなく再生できる。

今後とも、各地域において、個性的なまちづくりを念頭に地道な活動を期待したい。





ソーシャルビジネスとは??

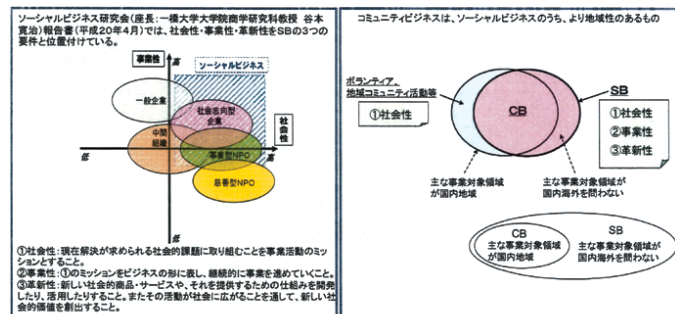
第2回ソーシャルビジネス全国フォーラム～ソーシャルビジネス・メッセ～
平成22年3月4日・東京都ベルサール原宿で
(主催：ソーシャルビジネス推進イニシアブ、経済産業省)

ソーシャルビジネス（SB）とは、障害者支援、子育て支援、貧困問題、環境保護、まちづくり・まちおこし等の社会的課題の解決を目的とした持続的な事業活動である。従前の営利を目的とした営利的な「会社」とは異なり、また、無報酬の善意に依存する「ボランティア活動」とも異なる新しいスタイルの事業形態である。SBは、社会的課題の解決に対して事業性を見出し、「新たな産業・新たな働き方」を創出する主体である。このような活動が、近い将来には行政、企業、市民の協働パートナーとなることが期待される。

1 SB55選

SBに参加したい、協力したい、自ら事業者として活動したいと思っている方にとって、最初の一步を踏み出すきっかけとして、全国の先進的なSBの事例を成功モデルとして選定したもの。

- I. 街づくり・観光・農業体験等の分野で地域活性化のための人づくり・仕組みづくりに取り組むもの
⇒NPOMブリッジほか24事業
- II. 子育て支援・高齢者対策等の地域住民の抱える課題に取り組むもの
⇒NPOわははネットほか17事業
- III. 環境・健康・就労等の分野で社会の仕組みづくりに貢献するもの
⇒NPO里山を考える会ほか6事業
- IV. 企業家育成、創業・経営の支援に取り組むもの
⇒NPOOne Netほか4事業



全振連・職員講習会（平成22年1月28日）

2 SBプレゼンテーション・ディスカッション

日本を代表する事業者から、社会の課題を解決する優れた商品、サービスについての実績と今後予定している提案情報のプレゼン。SBを成功させていくためのヒント＝プラス1でさらなる成功と次の一手となる。SBとは、Bとアザーズ（他人のための経済）・NOTチャリティです。日本全国にSBを。東京だけでなく、小さなまちにも、小さなまちの豆腐屋さんでもSBは実現できる。つなげていってほしい。

- (1) 池内タウル株式会社
オーガニック素材の安心・安全な製品を提供することで、環境負荷の低減と持続可能な環境型ビジネスモデルの確率を目指す。
- (2) 日本理化学工業株式会社
ガラスに描いてぬれた布で消すことができる、キットパス。ご家庭の窓ガラスで描く遊び場にすれば密室育児から自然とのふれあい、五感の刺激。
- (3) 日本ポリグル株式会社
水質浄化剤で水問題、健康改善とポリグルレディーで助成の雇用創出
- (4) ワタミ株式会社
「地球上で一番ありがとうを集めるグループになろう」で、農業、介護、貧困、環境、森林再生など社会的課題に取り組む。
- (5) アミタ株式会社
「森林酪農」で放置された里山、手入れの必要な植林地に乳牛を自然放牧。牛が草を食べることで人が間伐等の森林管理がしやすくなり、かつ美味しい牛乳とシイタケなどの林産物を得ることができる。
- (6) 財団法人ヤマト福祉財団
全国300の施設で1400人余りの障害者によるクロネコメール便の配送と障害者がビジネスの川上に立つためのDM封入発送プログラムをスタートさせる。
- (7) 株式会社ローソン
環境配慮型商品（エコバック、マイハシ）、環境活動に売り上げの一部が立てられる商品（カーボンオフセット）、社会貢献につながる商品（フェアトレード商品）、その他（カップメンの箸：吉野の間伐材使用・森の浄化一植林一伐採一活用）
- (8) NGO大地を守る会・株式会社大地を守る会
安全無農薬生産農家とそれをビジネスとして玄関先まで届けることを通じ、生産者と消費者を結ぶ。21000人がその株主となっており、社会的企業を宣言。社会的使命は、①日本の第1次産業を守る、②人々の健康、生命を守る、③持続社会をつくる、とした定款変更する。
- (9) NPO森の生活、株式会社マザーハウス、有限会社やんばる自然塾など

TOPIC 1

珠洲飯田町商店街と地域の人たちとのふれあい昼食交流会 ～商店街「共食」活動と商店街・個店の活性化～

ここ、珠洲飯田町商店街は、急速に進行する過疎と高齢化に積極的に取り組むため、平成20年度「まちづくり人材育成塾」を開講し、商店街の役員の方々や地域の様々な人々と2年余りディスカッション・交流をおこなってきました。その成果が、地域の高齢者の方々とふれあい交流会というかたちで結実することになったのです。

珠洲市は、官民一体となり「珠洲市都市農村交流再生計画」（17. 6. 17認定）をはじめ「元気な里山を創る！「里山マイスター」創出拠点の形成による奥能登再生計画」（19. 7. 4認定）、「奥能登・珠洲で暮らす、田舎しごと活性化プロジェクト」（19. 9. 20認定）により定住促進、交流人口拡大に努めるとともに、石川県では、昨年の5月、珠洲・都市ルネッサンス石川・都心軸整備事業として「燈籠山祭り」の舞台とした参道をイメージした「春日通り線」（春日神社と飯田港を結び延長およそ300メートルの拡幅工事）、旧森下旅館跡地に足湯をはじめ交流施設や回廊を備え、人々が行き交う「飯田わくわく広場」が完成した。本年3月には、道の駅「すずなり」が旧JR駅跡地にオープンするなど、中心市街地の賑わい創出に果敢に挑戦しています。

当商店街もそんな事業にソフトの魂を吹き込もうと、昨年8月には地域のコミュニティレストラン・いっぶく処「だんだん」をオープンさせ、地域の人たちの「たまり場」としての重要な役割を担ったり、さらには本年2月、地域の人たちが切に求めていた野菜等の販売処「珠洲いいだ彩り市」を開店した。

珠洲飯田のまちは、地域の「まちの顔」・「まちのセンター」としての重要な機能をもっており、そこに行けば地域の人たちが求めている何か（ひと・もの・こと）に出会える。「まち（いいだ）に行きたい（ワクワク・ドキドキ）」という欲求、動機づけ、さらには、その必要性を生み出す機能を創造しながらまちなかへの集客促進させていく。

この事業は、急速に進行する高齢化社会に対応した様々な社会的公共的課題を解決していくための地域コミュニティ拠点づくりのモデル事業（①地域の人と交流する、②まちの魅力発信、③商店街・個店の魅力発信、④地域の様々な人と交流する）としておこなうもの。毎月定期的に地域の高齢者の方々や「共食」を共に楽しみながら、むこう3軒両隣り・近隣関係の絆を深めてもらおうと企画されたものです。

おかみさんの方や参加者の応援も得て、おいしく盛り付けられた料理の数々がテーブルに運ばれてきます。地元では、古くから使用されてきた漆塗りご膳に、赤・黒漆椀（篤志家より寄付されたもの）に美しく盛り付けられた料理の数々。



- 天ぷらもの（れんこん、さつまいも、なす、ピーマン、しいたけにかます添え）
- 煮もの（かぼちゃ、ふき、たけのこにさんまの煮付け添え）
- 豆腐豆腐、酢のもの（くずきり2種、海ぞーめん、わかめ）
- 汁もの（あみたけ、枝豆のすり）
- 漬けもの（大根菜、味噌漬さまつ）
- 飯もの（ご飯）

ワイワイガヤガヤ、満腹、「おなか（前）だけでなく横も出てきた」とみんなを笑わせる一こまも。みんなと打ち解けてきたころ、食事も終了。残ったものを捨て折りに入れる人、食べきって大満足の人も色々です。「くつろぎのひと時」、地域の人たちの身近な話題「健康」をテーマとした講話がありました。



講師から、「こり」と「冷え」、「血液のよごれ」から「冷え」が、それが万病の元。「運動」では、1分間「後ろ歩き」がおススメ。足筋が鍛えられることから戻る血液が温められることで健康増進。「それでは家に行くまでに交通事故に遭うよ」と一堂笑いが出ます。最後は、「ツボの話」。肩、目、腰、足のツボマッサージもあり、参加者それぞれに試しながら、納得！納得！の声。

最後に、参加者と商店街の人たちとの座談会があり、打ち解けたなかで、人それぞれに感ずるがままに歓談を楽しむ。お互い知り合えて近所の防犯になること、なやみどころがあればみんなで協力して解決したい、これからも続けていって欲しいなどの要望も飛び出す。

三々五々、さっそくサービス券「ちょっと飯田まで・サービス券」を手に、お店を利用していく人もあり、成功裏のうちに幕を閉じた。

当日は、2-7朝市や100円商店街も同時開催。朝市の活性化に、商店街の出店も取り入れてやっていくという実験でもあった。そんなことも手伝って、商店街は、一日中來街客でにぎわいました。

この活動は、「孤立」となりがちな一人暮らしの高齢者のつらい交流することで、地域コミュニティを醸成する効果のほか、「共食」をきっかけに商店街と地域協働が促進すること、最寄り性、反復性が高い「食」機能を充実させることで、来街頻度を高め、まちなかのにぎわいづくりに寄与することができること、また商店街の社会貢献をアピールすることができる、など活動の効果、多いに期待できるものとして、また地域の人たちの笑顔溢れる交流の場も目にして、これからも地域の活動として、ぜひお願いしたいと感じた次第です。（取材）

今夏の猛暑がうそのよう、9月19日、日曜日心地よい秋風のもと、絶好のイベント日和。前夜祭に続き、今日は、「本祭り」の日です。

午前のにぎわいあふれかえった輪島「朝市」も露天をたたんで帰った後、入り口に巨大な人形「マジンガーZ」が設置された正午には、「本祭り」に参集した人たち、リュックを担いだアニメファン、若者のグループ、巨大アニメを記念撮影している親子など、商店街路地のおちこちから集まってきます。

丁度お昼時、お昼を食べようとする人たちが飲食店はどこも超満員です。普段は、午後お店の戸を閉めてしまう通日も、今日は、「本祭り」で午前につき、午後も商店街一帯にお店が開放されており、輪島漆塗りの商品を手にとって店主と会話がはずみずみです。

記念館で「お宝探し」のカードをもらい、お宝探検に出かける人。キャラクターのヒントと投票券を手に入れ、商店街全域にくまなく配置・隠されているキャラクターを探し出すというものです。知らず知らず、いつの間にか、商店街のすみすみまで回遊し、また最後には、自分の好きな景品投票箱に投票し、素敵な景品をゲットする楽しみもあり、終日イベントに参加してもらうという仕掛けです。

大勢の参加者が、開会の時間になる前から、早々と受付で記念館友の会会員登録を済ませ、輪島塗りと輪島が生んだ巨匠永井豪氏の、輪島の観光資源「漫画」を組み合わせたカードを大事にリュックのなかに仕舞い込み、キャンパスを手に記念館に入っていく。

さあ、これから、永井豪先生によるイラスト教室が始まります。記念館奥の「スタジオGO!」は、予約で満席。スタジオ両側面の12枚のホワイトボードは、氏の漫画「オモライくん」、「キッカイクン」などのたくさんの原画が添付されており、参加者は、「永井豪ワールド」に浸りきり。

「漫画」は、小さい子どもも大人もだれでもが描けるもの、まずは、自分なりのキャラを作ることが大事、という話を皮切りに次々にアニメの極意をやさしく、笑顔で伝授していきます。

そして、自分のキャラに自分のことをしゃべらせる。そうすると、どんどんキャラが生きてくる。生きたキャラクターとなっていく。それが、まんがの基本です。さらに時間の経過を表現していくと、自ずとストーリーになっていく。起・承・転・結を例にして4コマ漫画の一例をやさしく示してくれました。起・私が寝ています。承・お母さんは、私を起こし、お布団を片付ける。転・押し入れからお布団が崩れてきました。結・私は、お布団の下敷きになり、また寝てしまいました。――参加者一堂、納得、納得、なごやかな笑みがもれます。

最後に、筆ペンで仕上げていくと、漫画らしくなっていく。トークを交えながら、イラストする先生の手元をジッと見守り観察、真剣そのものです。



続いて、人気キャラ「キューティーハニー」の主人公「如月ハニー」を描いていきます。「首」はスライとながく、「ハニー」は7等身ぐらい。かわいいう女のこになっていきます。洋服を着せる前のヌードを描いていく。それが、また楽しみの一つですよ…ウフフ。会場は笑みの波。鼻、口は、割と小さく、少女おぼかしさがわかり、どんどん修正していく。次第に完全に近づくとつれ、目はくぎづけに。参加者の人たちも自分のキャンパスに自分なりの「ハニー」を描き込んでいく。予定の時間があつという間に終わっていました。



教室終了後、記念館前のステージでは、「ぬりえコンテスト」の発表です。本町商店街理事長賞、記念館賞、銀賞、佳作、と次々と発表。3歳から78歳の人まで幅広く参加され、優秀作品が多く、審査に困った程とか。ユニークさや年齢の努力も加味し、専門家の審査員による選考の結果です。小浦理事長から総評。輪島市、放送局、ダイナミック企画など様々な人たちの協力のたまものから実現した。記念館は1年余り経過したことを期に、本町の午後の活性化につなげたいこうと若手を中心として企画されたものです。

通りには、マジンガーZの曲のながれるなか、商店街やその路地めぐりを楽しんでた、60人余りの人が、記念館前のステージに集合。午後3時30分、氏によるトークショーはじまる。

記念館無料開放デーには、大勢の人が入館する。漫画家なりきり体験コーナーで、写し出されたキャラに色塗り、プリント、大事に持ち帰る子どもたち。漫画ライブラリーで、氏の作品に読みふけているアニメファン。お宝ショップでTシャツ、シールワッペン、ハガキ、お菓子、奇想奇抜永井毅氏40年目録、商店街創作漆塗りアニメグッズなどを買っていく人。

いつもは、朝市がひけた後のガランとした商店街も今日は人、人、人、ザワザワ行き交い、お店に入ってお買い物を楽しむ光景があちこちで。路地にある「井戸ポンプ」をめずらしがり、水をくみ出している恋人たち。4、5人のグループが行き会った通りは、終日賑わいあふれていた。

県内初の試み。アニメ漫画の楽しみの神髄が少しわかったようです。これからのまちの賑わいづくりにはたす役割の大きい1日として実感した意義深い体験をした、もう1つのものでした。

輪島市では、輪島が生んだ巨匠・永井豪氏のキャラクターを活用した観光モニュメント設置に積極的な意向もあると聞き、これからの進展に期待と心強いものを感じました。(取材)



講演「全国ふる里ふれあいショップ『とれたて村』

ハッピーロード大山商店街振興組合理事長 小原貴久氏
平成21年度第2回都道府県振興職員講習会
(主催：全振連 平成22年1月28日(木) 東京で)

当商店街は、東部東上線「大山駅」前に560メートルのアーケードに、加盟店舗217、朝10時開店、夜8時閉店、午後1時より夜間9時までが歩行者天国となっており、1日2万8千人の来街者あり。商圏は、東部線を中心に半径1キロメートル、自転車と徒歩の来街がおおく、自転車対策に解決策がなく困っている。

①商店街の概要

昭和53年	両商店街がハッピーロードとして合併。第1期アーケードに着手。(池袋にサンシャインビル建設に危機感)
平成7年4月	磁器カード・ハローカード導入 アーケードの老朽化、雨漏れ。ドーム型アーケードに付け替える。商店街でできることはなんでもやろう、として防犯カメラ、AED設置
平成8年	閉店舗シャッターに美大生によるペインティングでお客様とのふれあいを大切に
平成15年	FMハロー開始(お客様主体で構成) ハロープラザオープン(1F:食品スーパー、2F:コミュニティスペース)。新鮮食品を導入し、商店街との回遊促進をはかる。
平成17年10月	アンテナショップとして全国ふる里ショップ「とれたて村」(9市町村)開設

きっかけは、デパートの物産展の大盛況を商店街にも。初回は、空き店舗を活用した「ふれあいイベント」でテストケース。好評を得る。

②本格実施を検討。

- ・物産の常設店
- ・どこものものをどんなふうにするか⇒行政と協議する(防災都市提携市に呼びかける)。
- ・各市町村からどういふお店を出すのかを提案してもらう。
- ・商店街はアンテナショップするが、ものを売るだけはしたくない。市町村が実施しているグリーンツーリズムなどをとおし市町村とは永くおつきあいできること。
- ・同業者には、どういふふうの説明・了解してもらおうのか。
- ・課題であるが、集客とは、文化、人の交流であり、商店街と行政の協働により実現できる(参加市町村の意見から)。
- ・別の分野にも色々に拡大
- ・イベントをやり続けるといつてもやり続けていくことはできない。それでは、市町村の人に来てもらうことにしよう。空き店舗を活用し、①地方特産品販売、②生産者の方に大山に来てもらい販売、③地方と都会との交流、の3本柱ですめる。
- ・商品は?
- ・1500から1700アイテムそろえよう。
- ・日常の食卓で使う食材のみ取り扱う。



- ・開店する前に現地向く。生産者と直接ふれあい、話し合うことができたい体験する。
- ・大手流通に乗らない商品
- ・自分たちの想いを伝え、確かなものを伝えていかなければならないーそんなものを買っていただきたい。
- ・毎日のデータは産地の方へフィードバック
- ・実際に売ってみて評判がいいものは、生産者の顔が見えるもの、ストーリー性あるもの。

おいしい漬物の作り方をお教えます。

家族構成、買い物手段にあった適正な量を販売する。

中味が見える簡易包装(ふる里感を出す)

切り落としたもの、中落ちしたものをパックに(お買い得感)

地方の生産者との結びつき
生産者の人たちがやりがいをもって、元氣になってもらうこと、それが「とれたて村」の使命

- 「とれたて村」で知り合った市町村で、今度は、愛媛でやろうかー思いもつかなかった広がりができる。
- 生産者が商店街を来訪。消費者と直接交流できる。お客様から「いつ来てくれるのか」お客様との交流は始まり、商店街がコミュニティの場としてふさわしいを演出する。
- 全国の食を商店街で▶尾花沢すいか、玉こんにゃく、わんこそばなど
- ふるさとイベント▶地域ならではののおもしろイベントを毎週開催
 - *商店街のすいか一色にした尾花沢すいかまつり
 - *長崎蛇踊り
 - *妙高市の4大温泉足湯
 - *鴨川の乳牛の搾乳体験
- 商店街でふるさと体験▶人力車、もちつき、ミス大島など
- イベント広場▶生産者による販売(自己申告)
- 交流事業▶参加市町村を訪問、尾花沢花笠まつりに参加、川口町で異業種体験、修学旅行生による郷土芸能披露など。
- 食育事業▶区内小中学校給食食材を提供(月1回、旬の食材1品目)。試験実験に成功。平成21年4月から76校に拡大、年に1、2回、1品目を提供。
- 板橋区内8商店街で「とれたて村」参加市町村のイベントを同時開催

③最後に

自分たちだけでやるのは、もう限界です。いろんな人と交流し、連携してやっていく。いいまちをつくらうということで地域社会に貢献する。足りないものは求め、何かお返しできないか、お互い思いあふれる関係の構築を。我々商店街だけでなく、参加して下さる市町村のまちづくりにも貢献することができます。

東京都は、2700を超える商店街があり、地域コミュニティの核として役割を担い、日々活動している。昨今、空き店舗の増加、後継者問題など、商店街は、消費者の節約志向や価格競争にさらされるなど、難問が横たわっている。

このフォーラムでは、各お店の魅力づくりで地域に根ざした商店街の活性化をテーマとし、今後の商店街の取り組みのヒントとなるのではないかと、との公社理事長のあいさつに続きパネルディスカッション、商店街グランプリがあり、都内商店街の優れた取り組みを情報交換しあう機会となった。

1 パネルディスカッション 「どうすればできる? 地位に愛される『おみせ』づくり」

ジャーナリストの鈴木賀津彦氏をコーディネーターに5名のパネリストを迎えておこなわれる。

① 「アート&カフェこぐま」(墨田区)

当店は、東京向島「鳩の街通り商手街」の一角にある。「こぐま」は、2006年古い薬局を改装、内装はほぼそのままに、レトロで落ち着いた雰囲気を作り出しているレトロカフェ。カフェとアートを通し、人と人をつなぎ、まちづくりにも貢献。「こぐま」は商店街にとっても大切な役割を担うようになってきた。人が集う街とカフェをめざしてアート・商業・地域の橋渡しとしての役割を担っていきたい。



2004年 「向島百花園」で野外演劇・ワークショップ。地域の人たちとの触れ合い交流。
カフェを通し、そこに集う人々と自然に接触し、地域の記憶と情報を受け止め、それを作品の元にしよとしたい立つ。

2006年 「アート&カフェこぐま」オープン
・お客の「食」のニーズマッチせず。(コーヒー、中国茶などの飲み物)
・お客のニーズ分析。こぐまドーナツ、手づくりあんみつ、日替わりケーキのメニュー・表看板に掲載
・ゼロから始まったが、熱意と工夫と前向きな気持ちで取り組んだ結果、ケーキを目当てに「お店がここにある」とみんなが集まってきた。
「演劇」「向島のまち歩き」(ホームページに)

2009年 「墨東まち見世2009」(墨東エリアのアートプロジェクト)に地元アーティストとして参加。鳩の街在住3年間を元に作った演劇「島あつめ」を「こぐま」で上演。
新しいアートの発信(空きアパート(全室)に気鋭の商いを入れ、商店街活性化を目指す。)(チャレンジスポット! 鈴木荘)

2007年 店舗者募集(プレスリリースメディアに発信)、内覧会、内装

2008年 チャレンジスポット鈴木荘スタート(レザークラフト工房、足つぼマッサージ、NPO向島学会など)

2009年 新がんばる商店街77選に

② 株式会社瑠璃(武蔵野市)

ランジェリーブティック瑠璃は、吉祥寺サンロード商店街の一角にあり、ブラジャーを中心とした下着のほか、アウターや雑貨も扱うセレクトショップ。

親子3代の女性で切り盛り、女性の最も身近なランジェリーからライフスタイルを織りなす。(第1回準グランプリに選定される)



1974年 開業。71年アーケードができた際、ショップは始める。メーカーに言われるままに置くだけで売っていた時代。

2007年 3F改築。お店を2Fに移す。
2Fにまで上がってくださるお客様の想いをつくづく感じる。本当に必要なもの、オンリーワンをやっていききたい。

○学会や吉祥寺サンロード生活教室での講演
人間工学的見地から「美美式ブラフィッティング」発表。身体と健康のための下着の選び方講義

○商店街活動として
・生活教室 95年より46回を数える。「店主も消費者もみな生活者」をコンセプトに、地元用店主を講師に、その人の専門分野について語ってもらうもの。
・一店逸品街「一店逸品街MAP」
・美味健康めぐり
ガイドと一緒にお店めぐり。そのお店のこだわりの商品、サービスについての話を聞き、最後は、おいしいスイーツを食べながら喫茶店やレストランでアンケートに、懇談。

- ・吉祥天女(きっしょうエンジェル)ちゃん、ストラップなどのオリジナルグッズ
- ・吉祥寺まち案内所
- ・イベント

③ 有限会社魚よし商店(文京区)

本郷で昭和初期から続く鮮魚店。現在3代目が中心となり、親子4人で営む。こだわりは、魚をとおした食(育)啓蒙。

魚屋にとって最大の敵は、スーパーではない。「家で料理を作らないこと」。ニュースペーパー「食楽通信」で健康的な食事をつくる手助けするための記事を載せたり、魚の料理方法もアドバイス。

○商店街活動

- ・区、住民、学生を巻き込んだ本郷いちょう祭り
- ・学問の街本郷としての事業として受験生応援キャンペーン
- ・環境対応コミュニティビジネス展開による地域貢献事業
- ・地域ネットワークによりゴミエコ運動、地域安全運動(防犯、子育て、シニア)、食育・啓蒙運動



④ 森下伊勢屋(江東区)

可も不可もないおだやかな商店街。深川発祥の地。当店は、和菓子屋、江戸資料館オープンしたときに、遠方から来た人から、記念になるものをつくったらというアドバイスを受け、深川らしい名物、深川あさり餅が創作第1号。「のらくる焼き」は、森下駅乗降の観光客用のお土産として考えたもの。将来あべかわ餅、信玄餅、深川あさり餅の三大銘菓にしたいと夢は膨らむ。

伝統の昔の味にこだわりつつ、お菓子を進歩発展させているお店である。

○商店街活動

- ・「江戸しぐさ」街の伝承文化としてのこす
- ・纏(まとい)のモニュメント
- ・街路灯 江戸情緒のデザイン
- ・森下朝顔市
- ・大売り出し
- ・森下買物界限(カレンダー・商店街マップ)



2 第5回東京商店街グランプリ

平成21年度は、各区市の推薦を受け、イベント部門35件、活性化部門13件の計48件の応募があり、応募のなかから審査委員による書類審査で各部門5事業選定した後、商店街代表者によるプレゼンテーションと審査委員からの質疑応答による審査をおこない、各賞が選定される。

① イベント部門

- 🏆 **グランプリ** 奥山演劇見世物舞台事業
【奥山おまわりまち商店街振興組合】
- 🏆 **準グランプリ** 梅丘キャッツハロウィン2008
【梅丘商店街振興組合】
- 🏆 **優秀賞** 花みずき街角誰でもアーティスト
【深川資料館通り商店街協同組合】
- 〃 第6回滝野川新撰組まつり 【滝野川五商店会】
- 〃 いたばし商店街ふるさとまつり 【板橋区8商店街】

② 活性化部門

- 🏆 **グランプリ** モニュメント設置事業 【亀有地区商店街協議会】
- 🏆 **準グランプリ** 100円商店市&塙町採れたて野菜
【春日町本通り商店会】
- 🏆 **優秀賞** 祖師谷南商店街LED街路灯建替事業
【祖師谷南商店街振興組合】
- 〃 後継者世代と考える「みんなで創る久我山」
【久我山連合商店会】
- 〃 Fussa Route16商店街マップ事業
【福生武蔵野商店街振興組合・横田商栄会】